

書香

1997. 3. 31

No. 29

目 次

附属図書館の増築そして電子図書館 (工学部教授 畠山豊正) …………… 1	<情報検索サービス> 《CD-ROM 情報検索サービスの紹介(X)》…………… 6 《インターネット情報検索サービスの紹介》…………… 7
<諸 報> “神国日本(JAPAN)”原稿復刻へ…………… 2	全国国立大学大型コレクション案内……………10 1997年外国雑誌案内……………10 図書館関係会議……………11 平成9年度 附属図書館閉館・休館予定表……………12
<ニュース> 附属図書館増築・改修工事竣工…………… 3	

附属図書館の増築そして電子図書館

工学部 教授 畠山 豊正 (はたけやま とよまさ)

丁度この号に合わせて、新しく増築され近代的になった附属図書館が発足する。大学の教育・研究の重要な一旦を担っている附属図書館が、今まで基準面積の半分以下であり、その不便を解消すべく努力された歴代図書館長、教職員の方々に感謝したい。また、富山大学内外の皆様から益々利用され、発展することを祈りたい。

さて、周知のようにここ2、3年のインターネットの発展は著しく、図書館もこれまで、冊子体のものを収集していたのに対して、電子図書館として“情報”を集めて利用者に供給することになる。研究者の要求は、“自分の欲している文献の検索及び必要な論文の即時プリントアウト”である。有料の文献検索はかなり整備されている。無料のホームページも増えかつ年々充実してきている。なかにはアブストラクトも無料でプリントアウトできるものもある。近い将来図書館から冊子状の2次資料は消えるであろう。さらに、今でも有料ではあるがフルテキストをプリントアウトできるものもある。電子図書館は世界的に年々増加している紙の消費を抑制し、森林伐採に基づく環境破壊を抑える役目もする。

しかし、まだインターネットに対する不満足な点も沢山ある。各図書館によって利用法が異なり、その上、著作権の問題もあり、情報を外部にすべて解放していない。従って、ハード・ソフトを含めての国際的な規格化と情報の公開が望まれる。技術的にも、アクセス時間を短縮するためのオプティカルファイバーの普及、電子読書機と呼ぶに相応しいディスプレイや冊子と同様の鮮明度をもったプリンターの開発などが必要であろう。ただ、

研究用のコアとなる論文誌や文献はやはり蔵書として必要となろう。また、富山大学附属図書館の特徴をもつためには、ヘルン文庫や地方特有の蔵書なども必要であろう。

視点を教育用に図書館を利用する場合に変えてみる。マルチメディア教育の名のもとに、年々、講義にOHP、ビデオ、パソコンを用いる頻度が高くなってきている。明確な文字、精緻な絵、無駄のない説明、従って能率の良い講義。同様のことが電子図書館にも言える。学生が講義でわからなかったこと、あるいは宿題、実験などのレポートを書くために、その用語や項目を計算機で検索し理解するのは能率は良い。しかし、これでは知識のまさに番地的詰め込みでしかない。人間の脳は機械ではない。ある知識はその前後の脈絡を知ってはじめて意味があり、自分で考える力も養える。それには、能率は悪くてもやはり書物をめくることが教育上不可欠であり、それが人格形成にまで影響を及ぼすように思える。

このように、必要な蔵書と年々比重を増していく“情報”に併せて、多様化する利用者の要求に応じながら、附属図書館を発展させるために、これからも図書業務に携わる方々を悩ますことが多いであろう。

かつて、工学部がまだ高岡にあったとき、私は年に数度、本館の書庫に必要な文献を探しに来た。そこは周囲から切りはなされた自分一人の世界であり、文献を探しながら新しい研究のことも考えることができた。そして、それには紛れもなく“書香”が満ちていた。

“神国日本 (JAPAN)” 原稿復刻へ

ヘルン文庫には、ラフカディオ・ハーン（小泉八雲）の手書きの原稿「神国日本 (Japan)」(1,200枚) を所蔵していますが、すでに百年近く経て劣化が進み、インクの色も褪せ、最近は特別の時以外は公開していない。

ハーンの晩年の著書「神国日本」は、明治37年(1904)にアメリカの Macmillan 社から出版されたが、当時ハーンは狭心症に悩まされながら、出版社から送られてくる原稿の校正を行っていたが、ついにその出版を見ることなく亡くなった。原稿は2部あったといわれ、1部は出版社の Macmillan 社へ、1部は校正用にハーンが保管していた。

大正の末に富山市東岩瀬の馬場家が小泉家からハーンの蔵書を買取り、旧制富山高校へ寄贈され「ヘルン文庫」が創設されたが、小泉家では校正用に使用された「神国日本」の手書き原稿も一

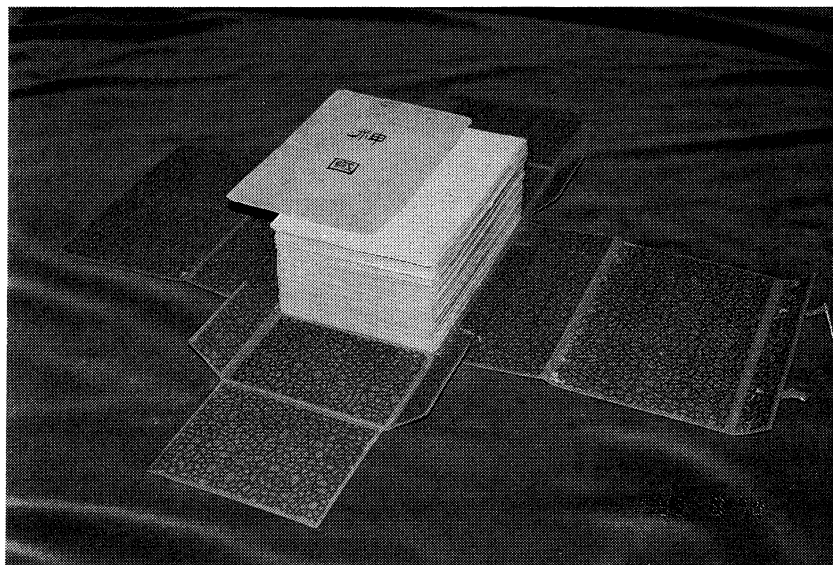
緒に付けていただいた。

原稿には、ハーンが付けたと思われる色鉛筆のページ付けや書き込みがあり、校正時に原稿の修正、手入れの痕跡など、研究者には興味深い原稿である。

しかし、ハーンが執筆して百年近く経過しており、保存の観点から殆ど非公開とし、研究者の閲覧希望にも応えていない。

附属図書館の増築も完成し、「ヘルン文庫」も新館の5階へ移転して「ヘルン閲覧室」「ヘルン展示コーナー」を備えた新しい「ヘルン文庫」となったので、これを機会に「神国日本」を復刻し、広く世界のハーン研究家に提供することとしたい。

復刻版は、オフセットカラー印刷で、なるべくオリジナルに忠実に複製し、秋に行なわれる大学の公開事業に間に合わせたい。



(ハーン直筆 「神国日本」)

附属図書館増築・改修工事竣工

平成8年3月25日着工した附属図書館の増築は、平成9年2月18日竣工いたしました。増築建物は、現在の建物の南側に6階建て（延床面積4,900㎡）の建物で、これにより、図書館は約2倍の広さになりました。

フロア構成は、1階に参考図書室、学習図書資料室、マルチメディアコーナーを

2階に自由閲覧室、理工系雑誌情報室、新着雑誌コーナーを

3階に文系雑誌情報室、新着雑誌コーナーを

4階に研究図書資料室、大学資料室を

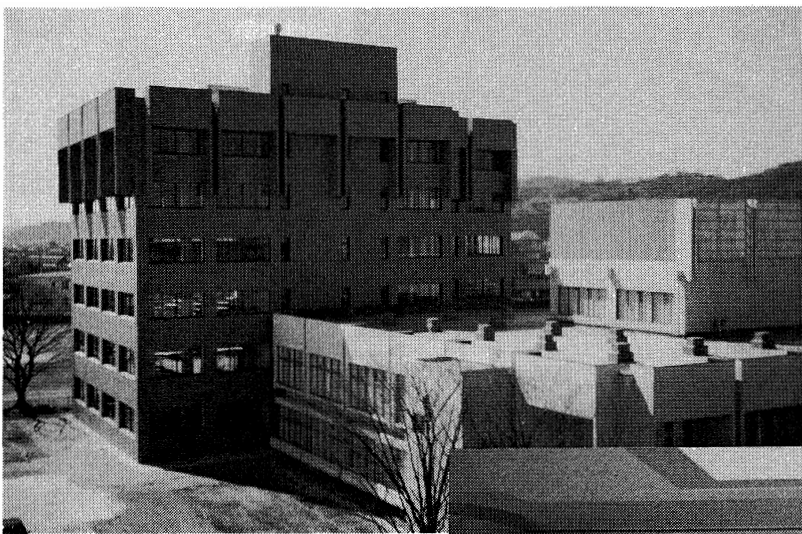
5階に研究図書資料室、ヘルン文庫とヘルン閲覧室を

6階に研究図書資料室、マルチメディア研修室を設け、利用しやすい図書館づくりをめざしています。

この他、国際化や生涯学習社会に対応して地域情報・国際交流コーナーを設置し、また、情報化に対応して情報コンセントを館内随所へ配置しています。

なお、増築に伴い図書資料等の移転作業のため、5月5日まで休館中です。

ご迷惑をおかけしていますが、ご協力願います。

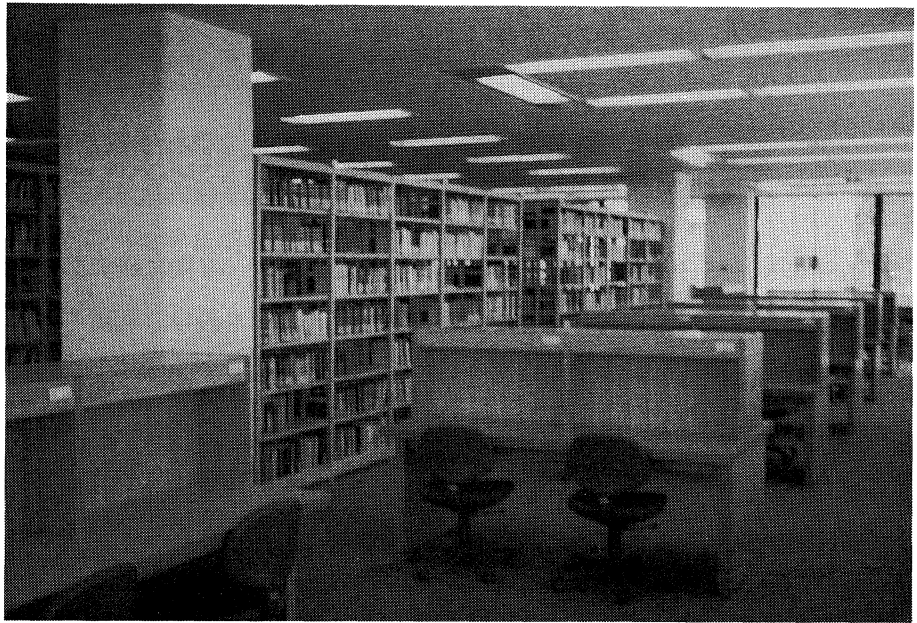


◀ 人文学部からみた附属図書館

カウンター周辺▶



1階学習図書資料室▶

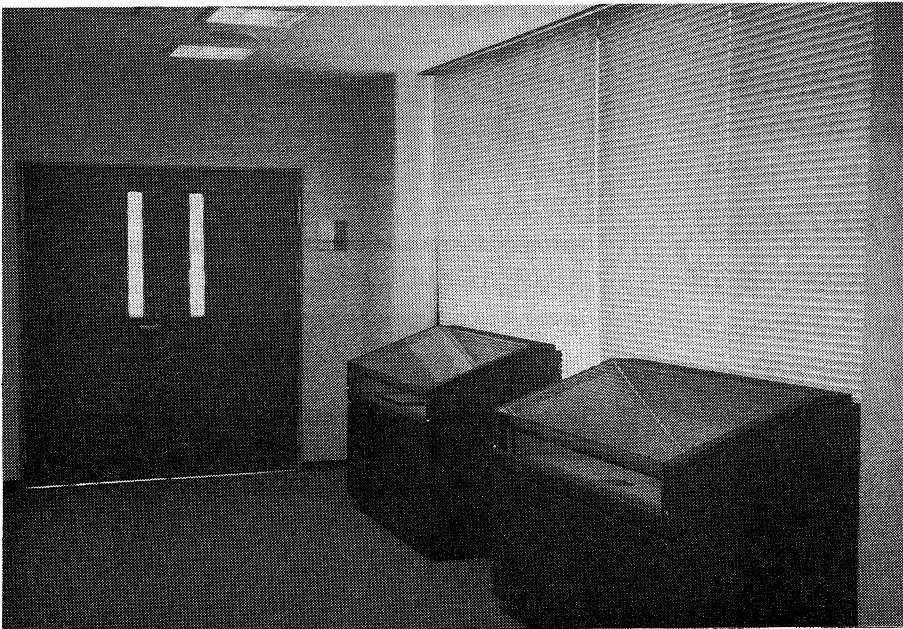
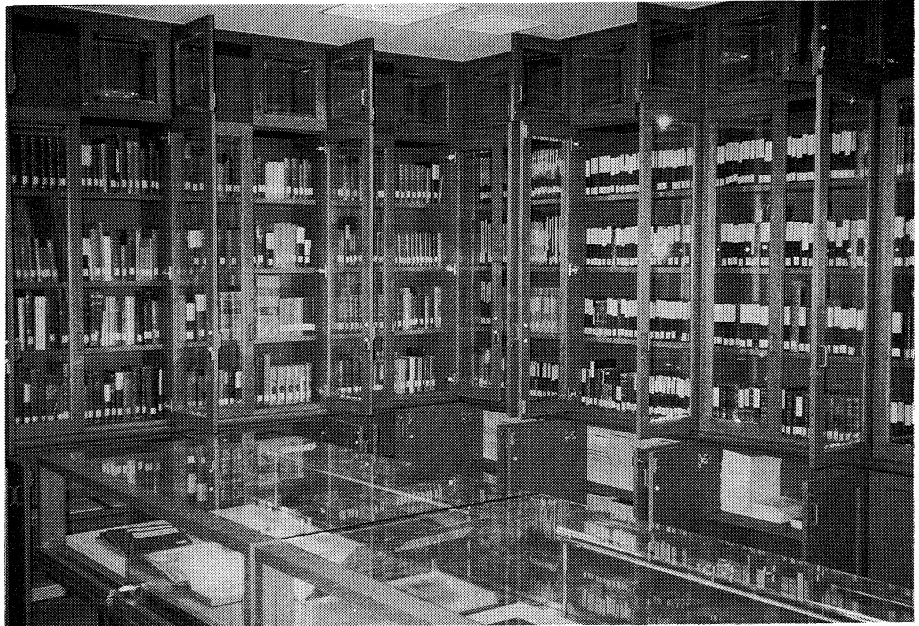


◀各階に配置したOPACコーナー

2階自由閲覧室に設置した▶
ビデオブース

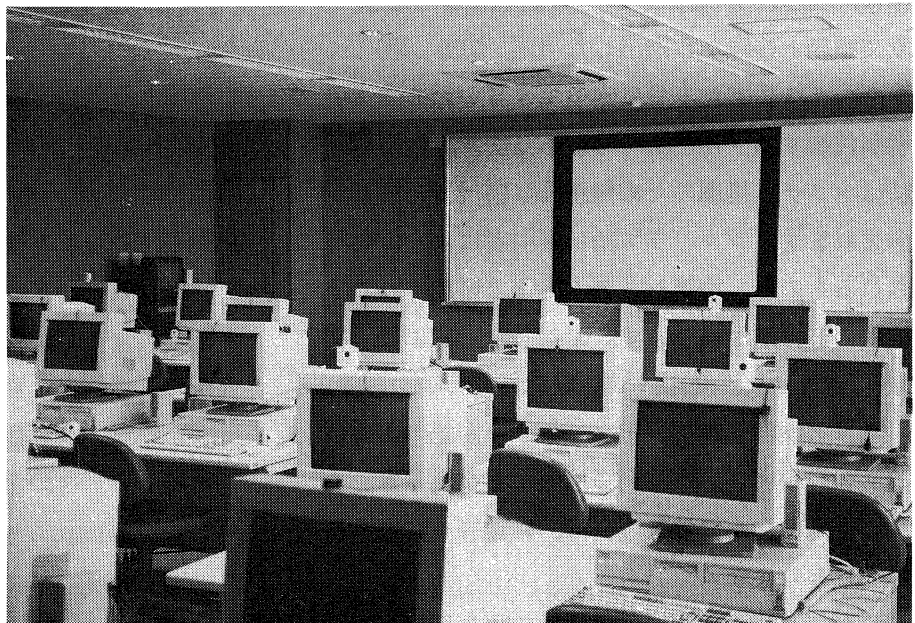


5階ヘルン文庫▶



◀ 5階ヘルン展示コーナー

6階マルチメディア研修室▶



《CD-ROM 情報検索サービスの紹介 (X)》

科学技術文献速報 (BUNSOKU)

CD-ROM

総合抄録誌「科学技術文献速報」を CD-ROM 化したものです。国内外の主要な科学技術資料（外国雑誌5,327種、国内雑誌7,050種、技術レポート35,435件、会議資料789件）のなかから年間約70万件の論文の要約を日本語で紹介した二次資料です。本学では12編構成のうちネットワーク対応のものは、「環境公害編」です。年4回更新し、第4号は年間版となります。

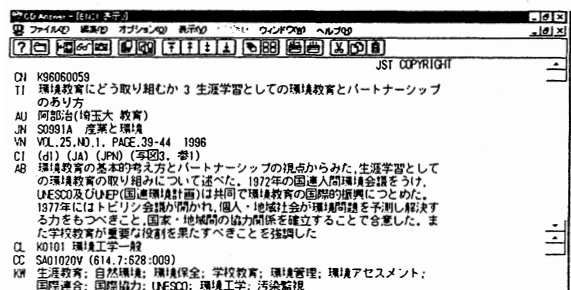
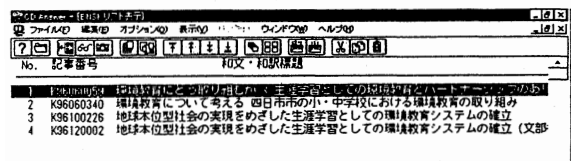
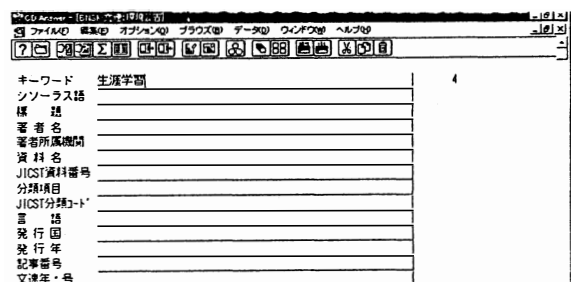
漢字キーワードにより検索し、検索項目は全キーワード（統制語、上位語、切出語、準ディスクリプタ）、著者名、著者所属機関、分類コード(UDC含む)、資料番号、資料名、記事番号・整理番号、言語、国名、資料の発行年、CD-ROM の発行年月があります。

探したい論文の言葉（例えば、生涯学習）を入力して検索すれば、すぐにデータの件数が表示されます。キーワードには、実際に文献の中で使われている用語（自然語）と「JICST 科学技術用語シソーラス」という用語集に登録されている用語（統制語）のシソーラス語があります。自然語には、JICST が電算システム処理により和文・欧文標題と抄録から抽出した用語（切出し語）と、シソーラス語では十分に索引できないために索引者が付加するフリータームがあります。切出し語にはシステム処理のため無意味な語（文字列）が含まれます。シソーラス語は索引者によって付与されるものと、電算システム処理で付加される上位語の2種類があります。また表示形式には、文献速報冊子体と JOIS に準拠したのがあります。

マウス操作で詳細表示させますと左記のように論文名、著者名、雑誌名、抄録などが表示されますので、原文が必要な場合は、雑誌等を閲覧することになります。

また、データベース名の科学技術や環境公害と

いう言葉に感わされたりせずに、情報を得るという手段で検索を試みることは、大変大切だと思います。たとえば、今の社会に要求される生涯学習のキーワードについてもあらゆる分野に浸透しているので、この CD-ROM で検索すると4件ヒットします。



平成9年度は「環境公害編」を中止し「物理・応用物理編」「ライフサイエンス編」を導入する予定です。ネットワーク対応 CD-ROM は研究室から、いつでも利用できますのでおおいに利用してください。1年間運用してみて、月に一度のメンテナンスが必要になりました。サービス休止の際はご理解とご協力をお願いします。

(情報サービス課学術情報係 内3706)

URL <http://www0.toyama-u.ac.jp/tya/library/cdromJ.html>

《インターネット情報検索サービスの紹介》

インターネット情報探索への道： 最初の一步

本学図書館の Web ページ「インターネットで情報探索」(<http://www.toyama-u.ac.jp/tya/library/inetres.html>) をプラットフォームにした館内WWW情報端末 (Power Macintosh 8500/120 を 8 台使用) 利用サービスを始めてからもうすぐ 1 年になります。本学に入学した学生の皆さんが、ある程度キーボードとマウスの操作さえできれば、必要な時に図書館に来て「WWW情報探食用基本画面」にリンクしてあるオンライン・マニュアル (冊子体マニュアルも用意してあります) を参照したりして、インターネットで求める情報を効率よく探し出せるようなページの更新と提供をこれからも維持しなければなりません。

おもしろ半分の時期も過ぎ、いざまじめにインターネットで調べようとすると、なかなか思うような結果が得られず、イライラすることはありませんか。

インターネット初心図書館員が調べた (記載 URL は 1997 年 1 月現在)、インターネットで調べる初心者のための覚え書きでも、お役に立てば幸いです。

図書館におけるインターネットの利用面ではるか先に行く、アメリカの大学図書館のサーチガイド (Rice University の事例 <http://riceinfo.rice.edu/Fondren/Netguides/strategies.html>) から一部アレンジして最初の一步としましょう。

● あなたの探索手順を定式化してみましょう

1) あなたが求める情報がインターネット上で扱われる可能性が高いかどうか判断しましょう。優れたインターネット・リソースを発見できる分野は：

- コンピュータ、エンジニアリング、物理学 (Computers, engineering, physics)
- 自然科学 (Natural sciences)
- 政府機関の情報 (Government information)
- プロダクト/ビジネス・インフォメーション (Product/business information)
- 大衆文化 (Popular culture)

現在のところ情報が少ない分野は：

- 人文科学 (文学, 歴史, 哲学, そして芸術) Humanities (literature, history, philosophy, and the arts)

- 社会科学 (人類学, 社会学, 心理学, 教育) Social sciences (anthropology, sociology, psychology, education)

2) あなたが必要とする資料の新しさの範囲を決めてください。

- インターネットではたいてい最新の情報が見つかることが予想されます。
- しかしながら、インターネットに公表される情報は頻りに更新されているという期待に反するようなことも、しばしばあります。
- かなり古い資料、特にその著作権が消滅 (通常 75 年以上経過) した資料が見つかることが予想されます。

3) あなたが必要とする情報を反映していそうなインターネット・リソースのタイプを選択してください。

- 日本国内の WWW リソースを検索するには、まず「RCAAU Mo-n-do-u」(<http://www.kuamp.kyotou.ac.jp/labs/infocom/mondou/>) を試し、使える検索語の制約、AND 検索、OR 検索、NOT 検索、完全一致、そして部分一致のほか検索の実際に必要な予備知識も再確認しましょう。
- より多くのインターネット・リソースを検索するには、「Alta Vista」(<http://altavista.digital.com/>) を選択してください。日本語による使い方 (http://pc.decj.co.jp/link/alta/alta_hlp.htm) も公開されています。
- 特定な主題でリソースをブラウズしたい場合は、「Argus clearinghouse」(<http://www.clearinghouse.net/>) を選んでください。
- 主題分野によってリソースを検索するには、「Yahoo!」(<http://www.yahoo.com/search.html>) を選択してください。
- クイック・リファレンス質問への答を選ぶには、「Internet Public Library」(<http://ipl.sils.umich.edu/index/text/html>) を選択してください。
- 同時にいくつかの WWW インデックスを検索するには、MetaCrawler (<http://metacrawler.cs.washington.edu:8080/>) を試みてください。
- テキストファイル (gopher サイト) の場所を探し出すには、「Veronica」(gopher://veronica/scs/unr.edu:70/11/veronica) を使ってください。

・ソフトウェア場所を突き止めるための FTP サイトとして、「Ring Server」(<http://ring.aist.go.jp/ring/softlib/index-j.html>)を選んでください。他の FTP 検索サービスとして「Archie Request Form」(<http://hoo.hoo.ncsa.uiuc.edu/archie.html>) というものもあります。

・ライブラリカタログの telnet アドレスを発見するには、「Hytelnet」(<http://galaxy.einet.net/hytelnet/HYTELNET.html>) を選択してください。

・インターネットメーリングリストをブラウズするために、「月刊 ML 紹介」(<http://www2j.meshnet.or.jp~odajima/ml/ML-in-JP/>) をを選んでください。

・usenet ニュースを検索するために、「DejaNews」(<http://www.dejanews.com/forms/dnquery.html>) を試みてください。

・電子メールアドレスを見つけるには、「WhoWhere?」(<http://www.whowhere.com/>) で調べます。

・もっと多くの特定情報を探すには「インターネットで情報探索」(<http://www.toyama-u.ac.jp/tya/library/inetres.html>) を使ってください。

4) あなたの検索をより厳密に。

・サーチ・エンジンがヒットしたサイト内容をチェックすることがあなたの検索結果を絞ることになります。

・サーチ・エンジンの多くは定期的にそのリンクを更新しないので、検索結果に含まれるサイトのいくつかはもう利用可能ではないでしょう。

・すべてのサーチ・エンジンは、どのように検索語を結合あるいは排除するかが設定できる“advanced search”をそれぞれの特色としています。

・サーチ・エンジンの大部分は OR 検索をデフォルトとして用いています。

・これによってあなたが検索するために使った検索語のいずれか1つを含むサイトのリストが得られます。

・もしあなたが blue moon を検索語とすれば、あなたは blue suede shoes, moon pies などに関するサイトのリストを得るでしょう。

・あなたが入力したすべての検索語を含むサイトを検索するには、AND あるいは+を使います。

・検索語を含まないようにするには、NOT あるいは-を使います。

・句として検索するには、引用符をくっつけ(“blue moon”)ます。

・サーチ・エンジンのほとんどが小文字の and,

not, with, adj を無視します。

・あなたの検索語をいろいろ変えてみましょう。

・blue の代わりに cyan, azure, あるいは cornflower を試みてください。

・あなたのつづりを変えてみましょう。インターネットはグローバルなネットワークですから、単語の color での検索にあたって、color と colour を試みたら、さらに Farbe あるいは couleur でも調べましょう。

・前方一致検索には、通常*を検索語の後ろに加え(例えば、color*とすると、coloring, colors, colorized などが検索対象になる)ます。

●あなたの検索結果をより有効なものとするために

1. ヒットしたサイトそのものの内部を検索してください。

・多くのサイトが内部のサーチ・エンジンにより、その Web ページのコレクション全体の記事を調べる機能を提供しています。例えば「Labyrinth: A World Wide Web Server for Medieval Studies」(<http://www.georgetown.edu/labyrinth/labyrinth-home.html>) では、中世の宗教情報のリソースのリンクを一つ一つたどらないで、そのリソース全体を特定の主題で検索することもできます。

2. 有用なサイトの URL の後ろの部分を取り落としします。

・例えば、あなた見いだした有益なページの URL から当該ページを表す部分をカットしてたどれば、そのサイトのメインページに到達できます。

3. URL を変えてみましょう。

・http://を gopher://あるいは ftp://に変えてみましょう。そうすればそのサイトにおいてテキストファイルあるいはソフトウェアが見つかるかもしれません。

4. あなたの検索結果を保存してください。

・もし見つけたアドレスが“cgi-bin”を含んでいるなら、それをあなたのブックマークに加えておいて今後の利用に役立てましょう。

●インターネット・リソースの識別

1. URL を見てどんなタイプの組織がサイトを運営しているか判断します。

米国の代表的な組織分類は、

・com は商用サイトです。

・edu はアカデミックなサイトです。

- gov は政府機関サイトです。
- org は通常非営利組織です。
- net はネットワークで結ばれたサービスプロバイダです。
- mil は軍のサイトです。
日本の場合の組織分類は、
- co は企業サイトです。
- ac は教育機関サイトです。
- ad はネットワーク管理組織サイトです。
- go は政府機関サイトです。
- or はその他の機関サイトです。
- ne はネットワークサービス業者サイトです
(1996年11月より)。

アメリカ合衆国以外のサイトの URL にはカン
トリー・コード (日本は jp) が含まれます。URL、
メール、メッセージなどでどこの国かなと思っ
たときに参照してください。詳細は「主な国と地
域のカントリーコード」(<http://www.asahi-net.or.jp/~ki4s-nkmr/country-code.html>) や
「International E-mail Accessibility」(<http://www.ee.ic.ac.uk/misc/country-codes.html>)
をご覧ください。URL フォーマットについては
「Uniform Resource Locators」(<http://www.w3.org/pub/WWW/Addressing/URL/>) があ
ります。

2. URL によって誰がそのサイトを作成したか
(あるいは少なくとも誰がそれをポストしたか)
判断します。

- ~name は通常誰かの名前、あるいはその名前
の一部です。例として「On-Line Dictionaries」
サイトの URL である <http://www.bucknell.edu/~rbeard/diction.html> をあげることがで
きます。
- それらの部分的な名前 (rbeard) や組織 (buck-
nell.edu) を手がかりに、「Who Where?」(<http://www.whowhere.com/>) を使って補足事項を
調べることもできます。

3. 以下の判定をしてみてください。

- 著者がリストアップされていますか？
- 著者の資格は何ですか？
- 偏向していたりあるいは商用本位ではありませんか？
- そのページが意図する対象は誰ですか？
- その情報は新しいですか？

• 他のリソースへのリファレンス、引用、あるい
はリンクが含まれていますか？

4. 他のレビューも参照しましょう。

- Magellan (<http://www.mckinley.com/>)
- Point Communications (<http://www.point-com.com/>)
- Excite NetReviews (<http://www.excite.com/Subject/>)

● インターネットリソースの引用について

1. もしわかれば、著者の名前をリストアップし
てください。

2. そのページのタイトルをリストアップしてく
ださい。

3. その URL をリストアップしてください。

4. あなたがそのページを訪れた日付 (Web ペ
ージがしばしばその作成・更新日付を表記してい
ないので、これがその情報がどれぐらい新しいかを
示す手がかりになる) を示してください。

5. もっと詳細な引用案内については、電子的な
資料の引用のためのオンライン・スタイルガイド
を参照してください。

- Electronic Style Guides for APA and MLA
(<http://www.uvm.edu/~xli/reference/estyles.html>)
- MLA's Guide to Electronic Citation (<http://www.cas.usf.edu/english/walker/mla.html>)
- SUNY-Binghamton's excellent guide to Citing
Electronic Resources (<http://libraty.lib.binghamton.edu/webdocs/citing.html>)

情報探索が目的で利用するインターネットの世
界にも、皆さんが暮らしている実社会と同じよう
に、ルールではなく、マナーやエチケットにあた
るものがあります。ときには「ネチケット情報
(ネチケットホームページ)」(<http://www.edu.ipq.go.jp/mirrors/togane-ghs/netiquette/>)
なども閲覧し、それぞれの「情報探索への道」を
一歩も二歩も先へ伸ばしてください。

(yoshi@lib.toyama-u.ac.jp)

Aphasiology
 Archiv fur Sozialgeschichte
 Bibliographie Zur Geschichte der Deutschen
 Arbeiterbewegung
 British Accounting Review
 Cahiers de Geographie de Quebec
 Cahiers de l'association Internationale des
 Etudes Francaises
 Cereal Chemistry
 Cognitive Linguistics
 Contemporary Accounting Research
 Control and Instrumentation
 Computational Mathematics and Mathematical
 Physics
 Critical Perspectives on Accounting
 Deutsche Sprache
 Educational Researcher
 Erdol-Ergas-Kohle
 F & M
 First Language
 Forschung im Ingenieurwesen
 Frankfurter Allgemeine Zeitung
 Flower Trades Journal
 Geographische Zeitschrift
 Geschichte und Gesellschaft
 History of Political Thought
 I.E.E.E. Transactions on Electron Devices
 Invertebrate Reproduction and Development
 Journal of Accounting & Economics
 Journal of Accounting Literature
 Journal of Applied Crystallography
 Journal of Cost Management
 Journal of Management Accounting Research

Journal of Nutrition
 Journal of Pragmatics
 Journal of Speech and Hearing Research
 Linguistische Berichte
 Limnology and Oceanography
 The Mathematica Journal
 Mathematical Finance
 Michigan Mathematical Journal
 Moter Ship
 Muttersprache
 Newsweek
 Observer
 Oil and Gas Journal
 Quarterly Journal of Mechanics and Applied
 Mathematics
 Sheet Metal Industries
 Sports Illustrated
 Sprachwissenschaft
 Stern
 Tijdschrift voor Economische en Sociale
 Geografie
 Transactions of the ASAE
 Trends in Biotechnology
 Zeitschrift fur Angewandte Mathematik und
 Mechanik
 Zeitschrift fur Deutsches Altertum und Deutsche
 Literatur
 Zeitschrift fur Germanistische Linguistik
 Zeitschrift fur Sprachwissenschaft
 Исторический архив
 Известия
 Российская газета
 Российский Экономический

図書館関係会議

(平成8年10月～平成9年3月)

- 平成8年度北信越地区国立大学附属図書館事務
 (部・課)長会議
 期日 平成8年11月7日～8日
 場所 新潟大学
- 第4回附属図書館商議会
 期日 平成8年11月11日
 場所 事務局中会議室
- 第7回附属図書館機能強化検討小委員会
 期日 平成8年11月28日
 場所 附属図書館長室

- 第3回年史編纂委員会
 期日 平成8年12月16日
 場所 事務局大会議室
- 第4回年史編纂構成・項目等検討小委員会
 期日 平成8年12月26日
 場所 附属図書館第2会議室
- 第5回附属図書館商議会
 期日 平成9年1月13日
 場所 附属図書館第1会議室
- 第6回附属図書館商議会
 期日 平成9年2月24日
 場所 附属図書館第1会議室

平成9年度 附属図書館開館・休館予定表

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1	火		1	木		1	日	休館(大学祭)	1	金	短縮
2	水		2	金		2	月		2	土	
3	木		3	土	憲法記念日	3	火		3	日	
4	金		4	日		4	水		4	月	短縮
5	土		5	月	こどもの日	5	木		5	火	短縮
6	日		6	火		6	金		6	水	短縮
7	月		7	水		7	土		7	木	短縮
8	火		8	木		8	日		8	金	短縮
9	水		9	金		9	月		9	土	
10	木		10	土		10	火		10	日	
11	金		11	日		11	水		11	月	短縮
12	土		12	月		12	木		12	火	短縮
13	日		13	火		13	金		13	水	短縮
14	月		14	水		14	土		14	木	短縮
15	火		15	木		15	日		15	金	短縮
16	水		16	金		16	月		16	土	敬老の日
17	木		17	土		17	火		17	日	
18	金		18	日		18	水		18	月	短縮
19	土		19	月		19	木		19	火	短縮
20	日		20	火		20	金		20	水	短縮
21	月		21	水		21	土	海の日	21	木	短縮
22	火		22	木		22	日	振替休日	22	金	短縮
23	水		23	金		23	月		23	土	
24	木		24	土		24	火		24	日	
25	金		25	日		25	水		25	月	短縮
26	土		26	月		26	木		26	火	短縮
27	日		27	火		27	金		27	水	短縮
28	月		28	水		28	土	短縮	28	木	短縮
29	火	みどりの日	29	木	短縮(大学祭)	29	日	短縮	29	金	短縮
30	水		30	金	短縮(大学祭)	30	月	短縮	30	土	
			31	土	創立記念日			短縮	31	日	

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1	水		1	日		1	木	元旦	1	日	
2	木		2	月		2	金		2	月	短縮
3	金		3	火	文化の日	3	土		3	火	短縮
4	土		4	水		4	日		4	水	短縮
5	日		5	木		5	月	仕事始め	5	木	短縮
6	月		6	金		6	火	短縮	6	金	短縮
7	火		7	土		7	水	短縮	7	土	
8	水		8	日		8	木	短縮	8	日	
9	木		9	月		9	金	短縮	9	月	短縮
10	金	体育の日	10	火		10	土		10	火	短縮
11	土		11	水		11	日		11	水	短縮
12	日		12	木		12	月		12	木	後期日程試験
13	月		13	金		13	火		13	金	短縮
14	火		14	土		14	水		14	土	
15	水		15	日		15	木	成人の日	15	日	
16	木		16	月		16	金		16	月	短縮
17	金		17	火		17	土	センター試験	17	火	短縮
18	土		18	水		18	日	センター試験	18	水	短縮
19	日		19	木		19	月		19	木	短縮
20	月		20	金		20	火		20	金	短縮
21	火		21	土		21	水		21	土	春分の日
22	水		22	日		22	木		22	日	
23	木		23	月	勤労感謝の日	23	金		23	月	短縮
24	金		24	火	振替休日	24	土		24	火	短縮
25	土		25	水		25	日		25	水	前期日程試験
26	日		26	木		26	月		26	木	短縮
27	月		27	金		27	火		27	金	短縮
28	火		28	土		28	水		28	土	
29	水		29	日		29	木			日	
30	木		30	月		30	金			月	短縮
31	金			火		31	土			火	短縮

- 通常開館 8:30-20:30 (工学専門図書室 8:30-20:00)
- 短縮 短縮開館 8:30-17:00 (工学専門図書室 1/16, 2/24, 3/11は8:30-12:00)
- 休日開館 12:30-16:30
- 休館

国民の祝日に関する法律に定める祝日及び休日
 本学創立記念日(5月31日)
 年末年始
 休業期間中の土・日曜日
 大学入試センター試験実施日(1月17・18日)
 入学者選抜学力検査前期・後期日程実施日(2月25日・3月12日)
 館長が特に必要と認めた日

* 4月1日-5月2日
 本館 休館
 工学専門図書室 短縮開館 4/1-4/11
 通常開館 4/14-5/2